



HAKUBA H.S.
Report Channel

白馬高校レポートチャンネル



白馬
高校

令和8年5月15日(第200号)

発行:白馬高校 教務係

TEL 0261(72)2034(代表)



◆1年生、親海湿原を見学・2年生、修学旅行で白馬に来た冠中(大阪・高槻)と交流

■【1年生】白馬高校オリジナルの北アルプス学の授業で、親海湿原を観察しました。白馬村役場で環境保全に尽力されている白濱さん、信州大学大学院で親海湿原を研究されている丸山さんに現地を案内していただきながら、広大な湿原とそこに生息する植物や水コケ等について勉強しました。「山は木一本で成り立っていない。各々の役割を果たしながら森全体で支え合っている」という話に感動しながら歩き続け、姫川の源流スポットも見学。貴重な経験を次に活かします。

■【2年生】中間考査直前まで教科書や授業プリントを見返し、勉強意欲が高まっています。観光実務の授業では、10月末に保護者や地域の方をガイドする観光地を決めました。今年は軽井沢と金沢の日帰りツアーを企画中。冠中学校との交流では、グループごとに高槻市と白馬村のそれぞれの良いところを出し合い、自分から離れて、立場の違う人(外国人・子育て世代・お年寄り・若者)から見た「理想の町」を考えて発表しました。

■【3年生】文化祭に向けての生徒総会が生徒会メンバーを中心で行われました。ハリーポッターをイメージにした「組分け帽子」で各学年の寮が決定。アウトドアスポーツの授業は青木湖で SUP、野外活動の授業では学校の庭に夏野菜、花壇に花の苗を植え、釣り用の竿に使う竹を山に切りに行きました。探究の授業ではそれぞれのグループが年間計画を作り、地域の方に協力いただきながら材料を調達して試作作り、インタビューや資料探し等を進めています。英検、TOEFL、ビジネス検定に挑戦する生徒も増え、進路実現のため各々が教員にアポイントを取り面接練習を始めています。



1年 親海湿原に行きました



冠中学校と交流する2年生



3年 青木湖でのSUP実習

◆米テキサス大学の学生と英語 BINGO・白馬中学生と外来種駆除・バドミントン部・山岳部

桜美林大学に留学している米テキサス大学の学生が来校。3年生の有志が企画した30分間の英語 BINGO(自由参加)は大盛り上がり。BINGOでもらえるお菓子を大事そうに持つ留学生と、臆することなく積極的に英語で話しかけた1年生が印象的でした。■先日の学校一般公開で来てくれた白馬中の生徒さんの発案で、高校生有志と合同で学校の中庭に生えてしまっていた外来種「ハルザキヤマガラシ」の撤去が行われました。外来種について、どうして撤去が必要なのか等詳しく説明していただきました。■中信総体ではバドミントン部の団体ベスト8、シングルスはベスト32。

山岳部は6/4-6で気象(天気図)知識・医療・炊事等の審査を含む登山競技大会に出場しました。



中庭にて外来種撤去作業



留学生に話しかける2年生



白馬農場様からブルーベリーの苗を頂く